

飯田高校同窓会 沿革

年	出来事
明治 28 年 (1895)	8 月 18 日 同窓会設立。
明治 29 年 (1896)	第 1 回同窓会が飯田市今宮の風越館で開かれた。
明治 44 年 (1911)	独立 10 周年に併せ、総会を行い規約改正し、卒業生のみを会員とする卒業生会と改称した。会長に島地校長が就任、以後 9 代まで校長が会長となる。
大正 10 年 (1921)	会報が初めて発行された。
大正 13 年 (1924)	会員名簿が発行された。
大正 15 年 (1926)	母校が上郷の高松に移転し、記念館落成を祝し、祝賀式が行われた。
昭和 5 年 (1930)	母校独立 30 周年記念式典が行われた。二つの支部が発足した。
昭和 14 年 (1939)	卒業生会が同窓会と名称が変えられた。
昭和 15 年 (1940)	独立 40 周年にあたり、名簿作成、記念講演、基本基金の募集を行った。
昭和 18 年 (1943)	戦没者合同慰霊祭を行った。
昭和 23 年 (1948)	規約改正がなされ、役員を選出が行われた。会長 吉澤俊一(中 5) 副会長 伊藤喜一(中 10)
昭和 25 年 (1950)	独立 50 周年記念式典が行われた。学校図書館の整備、プールの改修、会員名簿の作成など。
昭和 32 年 (1957)	学徒慰霊碑「希望の像」の建立。
昭和 35 年 (1960)	独立 60 周年記念式典が行われた。天体観測室と図書館完成。 山岳会隊員 4 名、ヒマラヤサルマチョメ初登頂に成功。
昭和 40 年 (1965)	南信随一の規模の体育館建設に協力落成。
昭和 44 年 (1969)	同窓会事務局が発足した。事務局長に熊谷利作(中 29)就任。

昭和 45 年 (1970)	独立 70 周年記念に併せ、同窓会記念館建設着工、46 年に落成した。
昭和 53 年 (1978)	事務局長に羽生英尚(中 37)就任。
昭和 55 年 (1980)	独立 80 周年記念、ブロンズ「青雲の像」建立。会員名簿作成、校史「長野県飯田中学校・長野県飯田高等学校」発刊された。
平成 5 年 (1993)	事務局長に後藤武巳(中 46)就任。
平成 7 年 (1995)	事務局長に宮下洌(高 3)就任。
平成 8 年 (1996)	新校舎改築に伴う正門の設置、天体望遠鏡の設置、陶壁画「アラベスク」滝沢具幸作、庭園整備に協力した。会員名簿を発行。
平成 10 年 (1998)	インターネットホームページ開設。
平成 12 年 (2000)	独立 100 周年記念式典が行われた。赤石碑建立、ピアノ復元。
平成 15 年 (2003)	高松塾開設。
平成 17 年 (2005)	「女性参加を進める会」の発足。
平成 19 年 (2007)	事務局長に井出雅陽(高 17)就任。
平成 20 年 (2008)	総会運営が学年の当番制となる(高 12 回生より)。 会則の変更で社会への貢献を追加。
平成 21 年 (2009)	独立 110 周年記念に向けて「ふるさとを元気にし隊」事業承認。
平成 22 年 (2010)	独立 110 周年記念式典が行われた。
平成 23 年 (2011)	社会貢献委員会の新設。 「女性参加を進める会」を「ユリノキ会」に名称変更。
平成 25 年 (2013)	総会を東京で開催(高 17 回生が当番学年幹事)。 第 1 回高松賞を「稲穂」編集委員会に贈呈。
平成 26 年 (2014)	第 2 回高松賞を伊那史学会に贈呈。
平成 27 年 (2015)	第 3 回高松賞を南信州文化財の会に贈呈。

平成 28 年 (2016)	第 4 回高松賞を宮澤芳重没後 45 周年記念事業実行委員会に贈呈。
平成 29 年 (2017)	総会を名古屋で開催(高 21 回生が当番学年幹事)。事務局長に市岡登(高 22)就任。第 5 回高松賞を伊那谷地名研究会に贈呈。
平成 30 年 (2018)	会員名簿発行が最後となる。 第 6 回高松賞は虎岩の文化財を守る会に贈呈。
平成 31 年 令和元年 (2019)	第 7 回高松賞は風越山を愛する会に贈呈。
令和 2 年 (2020)	総会を中止(新型コロナウイルスのため)。 独立 120 周年記念特別講演会を開催。講師:草野 仁 氏(TV キャスター) 演題:「いつもチャレンジ精神で」
令和 3 年 (2021)	コロナ禍のなか規模縮小、参加者限定で総会を開催した。 一般会員には You Tube 限定 Live 配信を行った。 第 8 回高松賞を NPO 法人ふるさと南信州緑の募金に贈呈。
令和 4 年 (2022)	コロナ禍のなか規模縮小、参加者限定で総会を開催した。 一般会員には You Tube 限定 Live 配信を行った。 ユリノキ会は発展的解消とし社会貢献委員会に統合。 会員名簿の電子データ運用開始により、会員名簿作成委員会は解散。 たかまつ桜二世の移植。第 9 回高松賞を杵原学校応援団に贈呈。
令和 5 年 (2023)	社会貢献委員会が「文化交流委員会」に名称変更された。 依然として一般会員の参加できない総会開催ではあったが、4 年ぶりとなる懇親会を開催することができた。 第 10 回高松賞を NPO 法人南信州クラブに贈呈。